

第 68 回早慶バスケットボール定期戦



The 68th KEIO vs WASEDA Basketball Game



第68回早慶バスケットボール定期戦
2010
WK
6.6.SUN

Time Table

09:30～ 男子Bチーム戦 (79スル-40)

11:30～ OB戦 (79スル-40)

13:00～ 女子戦 (10940)

16:30～ 開会式 (選手紹介、優勝杯授与等)

10:30～ OG戦 (79スル-40)

12:30～ 開会式 (選手紹介、エール交換)

14:50～ 男子戦 (10940)



部長 大谷 俊郎 | 監督 戸崎 洋 | H・コーチ 佐々木三男 | A・コーチ 実吉 邦純 | S&C スタッフ 山木 伸允 | 主務 福田 理 | 4年学生コーチ 板倉 琢磨

慶應義塾大学 看護医療学部教授 | 慶應義塾大学 | 日本体育大学 環境情報学部教授 | 慶應義塾大学 | 早稲田大学 | 大田原文 4 | 慶應義塾志木 経済 4



にのみや こうへい
二ノ宮 康平
環境情報 4
G 173 69
A 1988.08.01
京北
なにながなんでも勝ちます！



さかい ゆうすけ
酒井 祐典
環境情報 4
F 187 85
O 1988.04.16
福大大濠
これまでお世話になった方々へマイホーム(記念館)で共に肩を組み若き血を歌いましょう



かなおか りょうすけ
金岡 亮介
環境情報 4
G.F 185 80
A 1988.12.21
正智深谷
4年目の集大成。「勝利」しかイメージしてません。



いわした たつろう
岩下 達郎
総合政策 4
C 205 95
B 1988.12.16
芝
集大成見せます



くろさわ ゆう
黒澤 悠
法 4
PG 175 69
A 1988.10.20
慶應義塾志木
ワクワクさせます



さわたに ひろゆき
澤谷 裕之
法 4
PF 190 85
A 1988.11.07
慶應義塾志木
奪還！



まるはし としき
丸橋 駿貴
環境情報 4
F 184 79
? 1988.04.30
國學院久我山
去年のリベンジを果たします。



あそう けい
麻生 慧
環境情報 3
F 186 80
AB 1989.07.20
長崎西
ホームの意地見せます。



かねこ しゅんや
金子 峻也
環境情報 3
PG 176 68
B 1989.09.22
春日部
3回目の早慶戦。去年のリベンジ必ず！



はるもと たつあき
春本 龍彬
環境情報 3
F 190 85
B 1989.10.20
春日部
2回とも勝ちます！！



まつや なおと
松谷 直人
環境情報 3
F 185 80
O 1989.04.02
福大大濠
絶対勝ちます。



やし けいた
家治 敬太
環境情報 3
F 188 84
O 1989.05.01
清風南海
何が何でも勝つたる！



たなか たかひろ
田中 貴啓
環境情報 1
G 179 67
A 1991.09.23
福大大濠
声を出して、一生懸命頑張ります。



かつら りょうま
桂 竜馬
法 2
F 194 87
B 1990.09.04
国立
ホームです。絶対勝ちます。



しみず たかあき
清水 隆亮
環境情報 2
F 190 90
AB 1990.08.31
春日部
絶対勝つ！



えびな りょう
蛸名 涼
法 1
G 180 78
A 1991.06.16
洛南
少しでもチームの力になれるように頑張ります。



ちようめい ゆうき
長命 祐樹
経済 1
F 186 78
? 1991.11.01
慶應義塾
頑張ります



なかじま しょうへい
中島 祥平
総合政策 1
F 193 75
B 1991.07.12
魚津
少しでも勝利に貢献します！



やじま あきら
矢嶋 瞭
総合政策 1
SG 187 73
O 1991.05.29
福大大濠
少しでもチームに貢献し絶対勝ちます



もとはし ゆうすけ
本橋 祐典
環境情報 1
CF 194 100
O 1992.01.11
佼成学園
全力を出し切ります！



氏名	学部・学年	P	身長	体重	血液型	生年月日	出身校	自己アピール
いがらしまさし 五十嵐将司	経 済 4	志木高学生コーチ	178	90	O	1988.07.30	慶應義塾志木	最後の早慶戦、全てを勝利に捧げます。
かとう たかき 加藤 誉樹	環境情報 4	学連審判部	187	70	O	1988.06.30	福大大濠	
あんざい 安西 力哉	商 3	PG	164	60	O	1989.01.24	SOUTH	One goal:Revenge
いづか 飯塚 文貴	法 3	G	172	62	A	1989.12.24	慶應義塾湘南藤沢	総力戦。勝つ！！
おぎき 尾崎 康隆	経 済 3	学連競技部	169	60	B	1989.11.17	慶應義塾	今年勝って、来年こそは・・・
たかまつ 高松 将吾	法 3	3年学生コーチ	174	63	B	1989.06.26	慶應義塾	何が何でも勝ちます。
たなはし 店橋 彩	法 3	G	170	60	AB	1989.07.01	長岡	完全勝利！！
なるせ 成瀬 太揮	経 済 3	副務	173	62	A	1990.02.02	慶應義塾	記念館で昨年の借り返します！！
はらた 原田 拓弥	総合政策 3	C	200	85	B	1989.11.09	岡崎城西	頑張ります。
はん 咸 敏誠	総合政策 3	F	182	75	B	1989.12.28	桐蔭学園	絶対に勝つ！！
ふじき 藤木 譲	法 3	F	186	78	A	1989.09.11	國學院久我山	今年こそ完全なる勝利
まつお 松尾 拓真	環境情報 3	3年学生トレーナー	176	63	A	1989.07.08	國學院久我山	勝ちにいけます！
おおつき 大槻 健	商 2	G	174	67	B	1988.05.20	洛南	根性みせます
こんどう 近藤 蒼	総合政策 2	G	178	71	A	1990.09.14	秋田	全力で頑張ります！！
さいとう 齋藤 優	経 済 2	F	183	75	B	1989.04.10	静岡	常に前進。
のろ 野呂 昇平	法 2	F	187	81	O	1990.12.27	慶應義塾	絶対に勝って若き血歌います！！
おおき 大木 峻介	経 済 1	F	184	72	B	1992.01.15	慶應義塾志木	チーム一丸となって頑張ります。
おくむら 奥村 翔太	経 済 1	SG	172	66	A	1990.03.31	慶應義塾NY学院	打倒早稲田
さが 佐賀 僚	文 1	PG	163	63	B	1990.06.20	秋田	チームに貢献できる役割を果たす。
とあやま 遠山 啓一	経 済 1	1年学生トレーナー	172	65	O	1991.04.12	慶應義塾	全力でサポートします。
ながい 永井 賢人	経 済 1	G	171	67	A	1992.03.29	慶應義塾湘南藤沢	がんばります！
なるせ 成瀬 啓祐	経 済 1	PG	177	72	O	1990.10.05	慶應義塾NY学院	慶應の勝利しか見えません。
ひらいし 平石 健斗	環境情報 1	G	178	74	A	1991.04.21	慶應義塾	精一杯頑張ります
みずたに 水谷 正伸	総合政策 1	G	181	75	O	1991.10.16	秦野	先輩方のサポートを全力でして、プレイを見ながら色々学びたいと思います!!!



UNICORNS



部長	監督	コーチ	A.コーチ	アドバイザー	主務	副務
大谷 俊郎	斎藤 哲也	佐々木 毅	金澤 健太	木下 佳子	長谷川美佳	大西彩穂子
慶應義塾大学	慶應義塾大学	慶應義塾大学	慶應義塾大学	日本体育大学	法法4 慶應義塾NY学院高	法政3 慶應義塾女子高



いそがい かなこ
儀貝 佳菜子
法政 4
F 163 AB
1988.09.10
慶應義塾女子
全員バスケット、やります！



しょうだ めぐみ
正田 恵
文 4
G 158 A
1988.08.31
慶應義塾女子
応援めちゃくちゃ力になります！ので、よろしくをお願いします！！



のぐち あゆみ
野口 有佑美
法法 4
F 167 AB
1989.01.11
慶應義塾女子
感謝の気持ちをプレーに込めて、出し切ります！



かとう まゆこ
加藤 万由子
経済 3
C 172 O
1990.01.19
慶應義塾女子
慶應のバスケットを全力で体現します！！



おおたけ さえ
大嶽 沙絵
商 3
F 164 AB
1989.06.11
慶應義塾女子
今年こそ・・・！！



ちよのぶ あやこ
千代延 彩子
文 3
C 170 O
1990.01.21
田園調布学園
自分の役割を全うします！



いしかわ かなこ
石川 奏子
法政 3
G 163 A
1990.01.02
慶應義塾女子
思い切りよくプレーします！



かしわぎ りさ
柏木 理沙
文 2
F 167 O
1990.09.23
東京学芸大学附属
熱いプレーで盛り上げます



かわむら みく
川村 未来
理工 2
G 161 O
1990.10.31
県立宮崎北
爽やかに にこやかに



しおた みほ
塩田 美穂
文 2
C 164 A
1990.04.17
慶應義塾女子
思いっきりプレーします



しみず かよ
清水 佳世
商 2
F 160 A
1990.07.02
穎明館
勝利に貢献



やすい ゆかり
保井 裕香里
経済 2
G 157 A
1990.01.18
県立船橋
全力でシュートを決めます



まえかわ あい
前川 愛
文 2
G 158 B
1990.09.22
八雲学園
自分らしく頑張ります



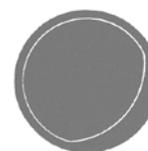
もりした あや
森下 綾
総合政策 1
C 167 B
1991.04.13
慶應義塾湘南藤沢
頑張ります！



UNICORNS

毎日の食事を通じて健康になれること、
日本の食文化の素晴らしさを伝えたい…

自然の恵みを食卓へ



since 1772

<http://www.naozane.co.jp>



米・鶏卵・小麦粉 食品全般取扱

松本米穀精麦株式会社

埼玉県熊谷市末広1丁目79番地
TEL 048-523-1201 FAX 048-523-1200

新感覚玄米 デビュー!

リッチブラウン

- 玄米より柔らかい
炊きあがり!
- 白米同様の食べやすさ、
飽きのこない新食感!
- 栄養豊富・繊維質も豊富!
- 無洗米なので手間いらず!
- 炊き方は白米と同じ!

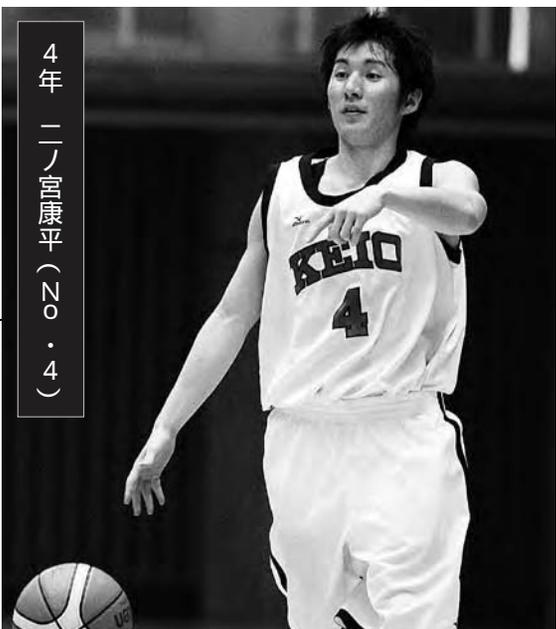
本物の勝利へ 應!

2009年シーズン、我が慶應義塾体育会バスケットボール部は、新チームでの初陣となる慶應定期戦にて、アウェイの重圧に臆することなく2連勝を飾り、関東大学トーナメントでは長年の悲願であった4年ぶり5回目の優勝を成し遂げた。勢いそのままに秋のリーグ戦に臨んだが、そこでは惜しくも準優勝。続くインカレでは、決勝戦でリーグ時に二連勝で押しつけた日本大学に敗れ、悔しくも全日本二連覇の夢が叶うことはなかった。とは言っても、その実力は間違いなく日本トップレベル。確かな自信と、塾代表としての誇りを胸に、勝負の年を戦い抜く!

に引き戻し、来年度の勝ち越しへと確実に繋げたいところである。昨年度、あと一步のところで涙をのんだ本塾。あの時の雪辱を晴らすために一年間積み上げてきた部員一人一人の力を、

今こそ発揮するのである。慶應義塾の最大の持ち味である「一体感」は、尚のこ健在。全員が役割を果たし、価値ある勝利を掴み取る。

勝負の年



4年 二ノ宮康平(No.4)

本年度は、「One on One」のスローガンを掲げ、あらゆる面で「Zone」にこだわる。目標は、春の早慶定期戦完全優勝、秋の全日本王座奪還であるが、目の前の試合を一つ一つ着実に乗り越えて初めて、これらの偉大なタイトルを獲得出来るということをお忘れはならない。常にチャレンジャーであり続け、謙虚にひた向きに、そして学生らしく洗練と戦い、さらなる高みを目指す。現在早慶戦の通算戦績は33勝34敗。今回何としても勝率をタイ

注目は何と云っても下級生時よりチームの主力として活躍してきた、二ノ宮、酒井、岩下の最上級生トリオであろう。大学最後の慶早戦、優勝にかけると意気込みには並々ならぬものがある。二ノ宮康平(No.4)はキャプテン兼リードガードであり、チームの精神的柱であることは言うまでもなく、特出したゲームメイクセンスと比類なきスピードで常にハイテンポな展開

を演出する。ともすれば自らもポイントゲッターと化する二ノ宮。チームメイクトの絶大な信頼と期待を背に、会場を熱狂の渦へと巻き込む。次に酒井祐典(No.5)。稀代のオールラウンドプレイヤーとして、過去三年間、重要な局面で幾度となくチームを勝利へと導いてきた男。圧巻はなんと、出てきたゲームメイクセンスと比類なきスピードで常にハイテンポな展開

プレー。天性の勝負強さで、相手を黙らせる。岩下達郎(No.7)は驚異的な支配力を誇る、日本屈指のセンター。ランニングプレーからの強烈なダンクシュート、繊細なタッチのロングシュートなど、シュートセレクションはバラエティに富み、早稲田は岩下を攻略するのに途轍もない労力を費やすことになるだろう。剛と柔を兼ね備えた、本塾の揺るぎなき大黒柱だ。金岡(No.6)、黒澤(No.8)、澤谷(No.9)、丸橋(No.10)は、最上級生ロールプレイヤー。リバウンド、ルーズボール、3Pなど、それぞれが随所で役割を課せられている。流れを引き寄せるビッグプレーに期待したい。

飛躍する戦力

昨年度までの2年間このチームに在籍するも、なかなか出場機会に恵まれず、苦汁をなめてきた学年が3年生である。しかし、2月のシーズンインを皮切りに頭角を現してきたメンバーが非常に多く、目標達成のためには、彼らの成長が必要条件となることも事実だ。ここではそんな成長著しいメンバーを紹介したい。まず一人目は、昨年からシックスマンとしてチームを支え、今ではチームの得点源として活躍する、浪速のフィンガーローラー・家治敬太(No.15)だ。正確無比のミドルシュートにセンスフルなアシストパスと、観る者を魅了する彼のプレイは日に日に凄味を増してきている。上級生とし

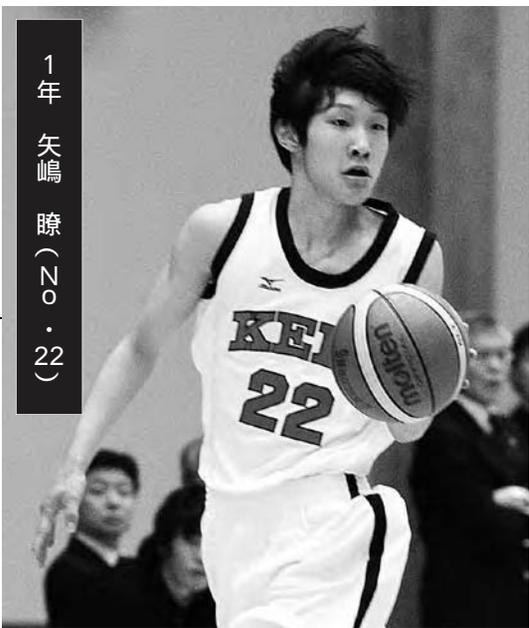


3年 家治 敬太(No.15)

ての自覚を持ち、練習中も激しく激を飛ばすようになった彼には、最早死角などない。この慶早戦においても、必ずや本塾を勝利に導いてくれるはずだ。二人目は、昨年度・新人戦得点王に輝いた、金子峻也(No.12)。誰もが認める類い稀なる得点能力はもちろんなこと、今年度はPGとしてチームを引っ張る姿も板に付いてきた。私生活ではユニークな一面も見せる彼だが、ひとたびコートに降りると厳しいセカンドガード争いによって得たゲームメイク力で、仲間の力を一気に引き出していく。大きく成長した金子に期待したい。次に紹介するのは、

ある泥臭さを体現し、チームを鼓舞する。怪我から復帰した麻生慧(No.11)も、抜群の身体能力を駆使し、起爆剤としてコートを縦横無尽に駆け巡る。彼ら二人はまだまだ伸びしろが多く、機会を得られれば必ず結果を残すことであろう。上級生となった彼ら3年生から目が離せない。2年生には、本塾の将来を担う2人のビッグマンが控える。一人目のビッグマンは、身長194cmの桂竜馬(No.17)だ。高校時代は目立つた実績こそないものの、非凡な頭脳を備え、本塾の考えるバスケットを体現する。武器である3ポシュートにはいつそう磨きがかかり、身長を生かしたフックシュート等のインサイドプレイも目に見張る成長を遂げた。明晰な頭脳を用いて冷静な判断を下し、チームを100%の勝利へ近づけてくれるはずだ。もう一人のビッグマンは、身長190cmの清水隆亮(No.18)だ。身長ながら彼のバスケットボールテクニクには誰もが驚嘆する。変幻自在のシュートはボール

超期待の新星



1年 矢嶋 瞭(No.22)

4月から慶應義塾の新しい仲間として加わった14名の一年生。全国各地から高い志を抱いて結集した彼らがチームにもたらす勢いは、何物にも代えがたい力である。その中でも、既に春先から即戦力として活躍しているメンバーを紹介したい。まずは、その知的な面持ちと謙虚な姿勢が印象的なクールビューティー、姥名涼(No.19)。練習での理解力、表現力、安定感、どれをとっても随一、会場の注目を集めること請け合いです。二人目は、圧倒的なスピードとクレバーネスが光る、矢嶋瞭(No.22)。一つ一つの洗練された動きは観るものに大きな期待を抱かせる。淡々とした性格からは想像出来ないほどの迫力を放つディフェンスから、速攻の先陣を切る攻撃力、この男から一瞬たりとも目が離せない。最後に、異なるタイプの大型新人

得点を狙ってくる。人数の少ない2年生、彼らをまとめ二人の双肩に期待が掛かる。中島祥平(No.21)と本橋祐典(No.23)だ。高校時代の二人であるが、代表合宿でそのポテンシャルの高さが認められ、着実に力を蓄えてきた。中島はその高身長に加え、アウトサイドシュートやランニングプレーにも秀でたユーティリティープレイヤー。本橋は、恵まれた体格を生かした力強いリバウンドが魅力の仕事人。今シーズンは、岩下の負担をいかに減らすかが大きな課題の一つとして挙げられるが、二人の貢献度は計り知れないものとなるであろう。是非とも活気漲る度胸満点の彼らに注目して頂きたい。例年になく層の厚くなりそう今年シーズン、正しく勝負の一年! 伝統の全員バスケットで、早慶戦優勝の座を奪還する。

全員バスケ!

昨年度秋のリーグ戦、本塾は、年々激化していく三部の荒波に苦しめられた。本年度は、「チーム力」をコンセプトに、全員で白星を取りに行く。チームの決まりことは、いたってシンプルだ。

一、責任と自覚
二、信頼関係
三、感謝の気持ち、
この三カ条を胸に、早稲田に立ち向かう。

本年度のチームは新たなスタッフを迎え、体制を一新した。アシスタントコーチに金澤健太氏(元慶應女子高コーチ)、アドバイザーに木下佳子氏を迎えた。経験豊富な二人の指導も加わった本塾の今後に乞うご期待!

責任と自覚

本塾が現在大切にしているのは、「部員一人一人が、チームの勝利に対する己の責任を自覚し、行動する」ということである。全員バスケこそ、本塾の生きる道だと考える。

部内一の「全員バスケ」体験者は、やはりこの人、主将4磯貝だ。磯貝は三年時からスターティングメンバー。粘り強く堅実なプレーで勝利に貢献してきた。誰よりも背中で語る女、磯貝のガッツ溢れるプレーに注目してほしい。四年、そして主将の意地を見せてくれるだろう。

副将 5 正田は本塾の元氣



4 年 磯貝佳菜子 (#4)

印。持ち前の明るさと合わせの感性で、コート内外両方からチームに流れを呼び込む。常に前を向く、ポジティブな姿勢でチームをけん引する。
6 野口のしなやかなプレーは後輩の憧れである。一見大人しく見えるが、野口の攻撃力はチームの要だ。彼女の闘志がチームを勝利へ誘うこと、間違いない!

今年の四年生は全員が付属校出身、内部進学生という、珍しい構成だ。究極の慶應愛を持つ彼女達、最後の憧れの舞台「早慶戦」で燃えない訳が無い。

ここからは、しつかり者が集まる三年生を紹介する。
7 加藤は落ち着き漂う風格と存在感で得点を重ねる。彼女がゴール下においてくれる安心感は莫大である。

怪我から復帰したばかりの8 大嶽。苦しい期間を乗り越えた大嶽は、必ずや天性の攻撃力をコートで爆発させてくれるだろう。

10 石川には巧みなボールハンドリングで相手を翻弄して欲しい。いつも一生懸命な石川の姿勢は先輩からモリスベクトされるほどである。

復帰を目指してリハビリ中の千代延と清水、そして主務長谷川と副務大西。この四名も、チームにいかに関与するかを考え、行動している。

上級生を筆頭に、チームがまとまり始めている。

若い力

全員バスケで挑む本年度の本塾は、積極的に若い力をコートに送り出す。

#16 前川(二年)にはチームメイト全員が絶大なる信頼を置いている。オフエンス・ディフェンス共にチームのトップクラスである前川。彼女が勝利の鍵を握っているといつても過言ではない。

11 柏木は見た目の可愛さからは想像出来ない、ど根性プレーを繰り出す。柏木の伸び伸びとした元気のいいプレーは本塾にとって貴重な存在であり、チームを元気づける。

12 川村は腰に爆弾を抱えながら、全力投球を続ける、熱い選手だ。軽やかな身のこなしは運動神経の良さを感じさせる。

15 保井は力強いボール運びで、早稲田のディフェンスをかいくぐってくれるだろう。自らゴールを狙うことも忘れず、ディフェンスでも粘り強く食らいつく。

17 森下は本塾期待の一年生。春休みから積極的に練習に参加してきた森下、果たして早慶戦デビューは叶うのだろうか!?



4 年 野口有佑美 (#6)



2 年 前川 愛 (#16)

感謝を伝える

「ご来場頂いた皆様へ伝えたいことが一つある。慶應義塾体育会大学女子バスケットボール部の部員には、芯がある。追い求める理想がある。何故バスケを続けているのか、その先に何があるのか、総二十一名のスタッフと学生が一丸となり、「勝利」へ突き進む毎日を幸せに感じている。この幸せを支えてくれている全ての人々に、今日は感謝の気持ちを伝えたい。

それでは、本塾の全員バスケをご堪能あれ!



THE 対談



4月末、都内某所にて行われた早慶戦対談。4年間チームの主力としてコートに立ち続ける6人が、最後の早慶戦に向けての思いを語る。早慶としてある意味一つのチームのように4年間を過ごしてきた6人。要所要所で仲の良さを伺わせる、大変和やかな雰囲気の中進んだ。

「コートの外では...？」

みなさんのキャラクターを知りたいのですが、チームメイトがどんな人なのか教えて頂けませんか？

酒井：じゃあ早稲田から。

井手：相井は腹黒くて、秘密主義で...

金井：適当で...

相井：なんでやねん！比較的眞面目やと思うけどな。

井手：責任感が強くて、誰とでも話せてチームをまとめられる存在。キャプテンに適任だよな。

金井さんはどんな人ですか？

井手：賢治は適当で。

相井：天の邪鬼だよな。本当はそう思っていないのに違うことを言っちゃうみたいなの。

井手：シャイなんだよね。意外と恥ずかしがり屋さんなんだよ。あと勉強が出来ない(笑)。でもなんだからで愛されてるんだよな。

相井：適当でもみんなに大事にされてるよね。

金井：もう恥ずかしいから(笑)

井手さんはどんな人ですか？

井手：僕はまあ、眞面目で...

金井：井手は適当で、根暗で...

井手：根暗は違う(笑)。もっといいとこ言って。

相井：負けず嫌いかな。

井手：それはある。

相井：Bチームに負けるのとかが嫌だし、1対1とかで負けるのも嫌だよな。それがプレーに出てる。

慶應×早稲田

金井：まあ、眞面目で授業眞面目に出て、僕の授業も全部組んでくれました(笑)。

では慶應の皆さんに。面白い方はいますか？

二ノ宮：祐典は天然で面白いってよく思われるんですけど、実はいつもウケを狙っていて、よく言えば賢くて計算高く、悪く言えば腹黒い(笑)。でもバスケットになるとすごい責任感があって、練習を眞面目に取り組む姿勢もあり、頼れる存在です。ただ、練習中に独り言が多くて何を言っているのかよく分からない時もあります。後輩は怖がっている人もいれば、変な人だなと思っている人もいます。

酒井：それも計算です(笑)。

次は岩下さんについて教えてください。

酒井：誰とでも喋れて、学校の中では女の子からチャホヤされ、男からも人気ですね。自分から絡みにいけるのでどこに行っても人気者です。

二ノ宮：やっぱりデカイんで、皆その話題から入るんですけど、普通はそれだとあんまり会話が弾まなさそうじゃないですか。でも岩下は人柄がいいんで、すごく印象が良い。

酒井：友達がすごく多い。

二ノ宮：そう、とにかく第一印象がメチャクチャいい。

最後に二ノ宮主将について

酒井：賢い(笑)。

二ノ宮：お前言わなくていいよ(笑)。

岩下：巷では『こどもキャプテン』と呼ばれているらしいんですけど、考えがすごくしっかりしています。最近では人前で喋ることに慣れてきて、キャプテンシーを発揮してくれているし、とにかく頼れる存在です。

相井大樹
早稲田大学
4年
主将 No.51



滋賀県出身。光泉高校でも主将を務め、チームを牽引した。大学では、1年次から主力として活躍。抜群のシュート力・と1on1のディフェンスの強さが魅力の選手。

「最近の両チーム」

ここまでの早稲田について教えてください。新チームがスタートしてから数カ月。練習試合も何試合かこなしてチームの形もだいぶ見えてきたのでは？

井手：何試合かやってきたけど、うちはムラがありますね。去年以上にかみ合ったときの力はあると思うんですけど。トーナメントでは絶対にベスト4にはいきたい。そして決勝にいきたい。というか俺はいける気がする。

相井：いい状態でプレー出来たらいい。悪くなったときにガーって崩れちゃうんだけど。相手チームがどうこうというよりは、前期ということもあるし、いかに自分たちのプレーが出来るかだよな。そ

THE 対談

こを目指していけばいい結果ができるんじゃないだろうか。

慶應はどうでしょうか？

二ノ宮 : まだ課題が山積みで、全然だめです。けど逆に言えば伸びしろが大きいので、これからの取り組み次第ではすごいチームになると思います。

岩下 : やっぱり世代交代したんで、僕ら既存の中心選手が新戦力を生かせるようなチームにしたい。そこが上手く機能すれば、進化出来るチームだと思うので、しっかりと取り組みたいです。

酒井 : 岩下が言ったように、可能性があるチームだと思います。これから京王電鉄杯や関東トーナメントがあるので、そこでいかに周りを生かすプレーを出来るかが勝負だと思っています。

「最後の早慶戦を迎えて」



今年は早慶戦の場所が代々木第二体育館ではなく、日吉ですね。少し残念な気持ちはあるかな？

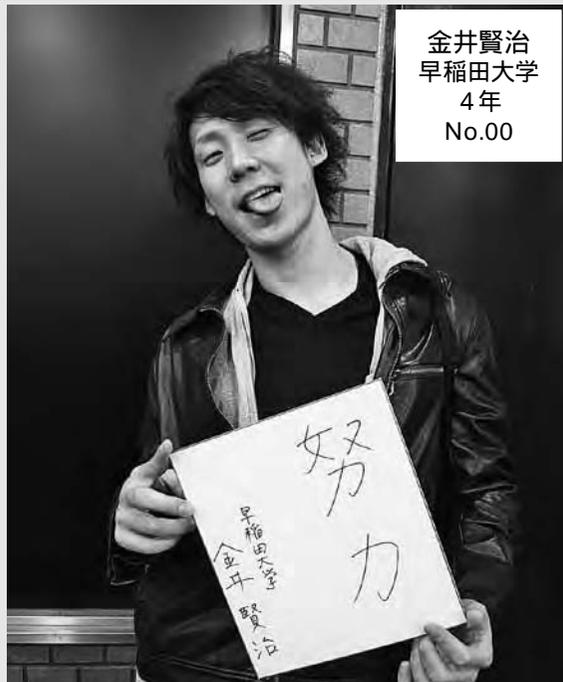
相井 : あーそれはありますね。

井手 : アウェーじゃん。怖くてシュートとか打てない。俺、繊細だよ(笑)。

岩下 : 個人的には代々木でやりたかったんですけど、最後の年がホーム開催ということで、友人からなにから集めて慶應一色にして勝ってやろうと。

二ノ宮 : 全てで慶應一色にして去年の雪辱を晴らせるように頑張りたいです。

酒井 : これ同じことしか言えませんよね(笑)。ただ勝利そこだけに集中したいです。



金井賢治
早稲田大学
4年
No.00

大阪府出身。東山高校時代は全国大会に出場しなかったものの、国体で京都チームの一員として全国で活躍。3Pからインサイドまでこなし、圧倒的な得点力を持つ。早稲田においても1年時から活躍。



井手勇次
早稲田大学
4年
副将 No. 7

埼玉県出身。北陸高校ではインターハイ優勝時の主力として活躍。1年次からスタメンとしてプレーし、チームNo. 1の勝負強さを持っている。

慶應×早稲田

早稲田は今年はどうなチームですか？

井手 : プレスタイルがないよね。

相井 : たぶん慶應は24秒を使わずに割とはやく攻めてきますから、うちは逆に24秒いっぱい使って攻めてリズムを狂わせる。つまり相手のにあわせて嫌なことを嫌なことをしていくのがスタイルかな。万能って言えば聞こえがいいけど、チームカラーがないのかな。

慶應とはどのように戦うのか？

相井 : 慶應はみんなシュートを打ってくると思うけど、やっぱり中心になるのはこの3人ですよ。だからこの3人を抑えればうまくいくのではと思っています。

井手 : まぁね。理想は全部抑えることなんだけど。リズムというか中心となる場所があるのでそこを狂わせればね。まぁ、それが難しいんだけど。

では慶應側が早稲田にどんなイメージを抱いているのでしょうか？

二ノ宮 : 4年生主体というか今年力入れてると思うんで、相当の強い気持ちで臨んでくると思うんですけど、こっちもそれ以上に頑張りたいです。

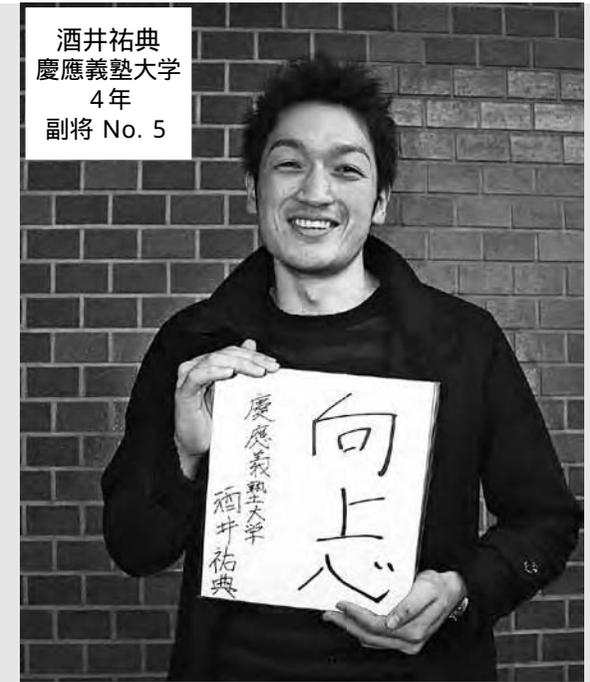
岩下 : それなりにポテンシャルがあるチームで勢いに乗ったら相当やっかいですね。

まぁ最初から叩き潰せば問題ないと思います。

酒井 : 早稲田のイメージは井手君一人ですね(笑)。去年も最後にやられたんで、あれを止めるために1年やってきたようなもんですよね(笑)。真面目に答えるとシューターが多いですね。インサイドは久保田ぐらいなので。戦い方としてはインサイドは岩下に任せて、僕たちはシューターをいかに抑えるか。それが勝敗に繋がっていくと思います。

では早稲田と戦う上でどういうことを考えてい

酒井祐典
慶應義塾大学
4年
副将 No. 5



長崎県出身。言わずと知れた超名門・福大大濠高校の元主将。大学では、最強のユーティリティープレイヤーとして名を馳せている。お茶目な普段と試合時のギャップが激しい。

るのでしょうか？

酒井 : 今年は去年のような接戦な展開にもっていかれたらやられそうなので、できるなら(点差を離して)勝ちたいです。

井手 : 僕らも離したい(笑)。

酒井 : たぶんそんなにうまくはいかないんだよね(笑)。

早稲田が慶應で警戒したい選手は誰ですか？

井手 : 酒井。

金井 : 酒井やー。

酒井 : 早稲田は井手君ですかね。去年も最後にやられていますし。

金井 : あーそれ去年二ノ宮が出てきたから、井手が空いたんや。俺どうしようかパニックってた。東さんにボールわたして、もうボールもらいたくな

THE 対談



二ノ宮康平
慶應義塾大学
4年
主将 No. 4

埼玉県出身。京北高校時の大阪インターハイでは見事得点王に輝き、高2の国体ではチームメイトの岩下と共に日本一の原動力に。慶應義塾大学入学後は、不動の司令塔としてチームを牽引している。

ったのにまたきてさ(笑)。で酒井を抜こうとしたら二ノ宮がきてヤバいと思ってたんだよね。

井手 : 俺待ってたから(笑)。まあ、酒井は仕事人ですよ。

酒井 : ワタクシ、その井手君のスリーポイントの後に、同じように逆転のチャンスがあったのに決められなかった...。

早稲田一同 : あーあせった、あせった(笑)。

酒井さんは実際に対戦してみてどうですか？

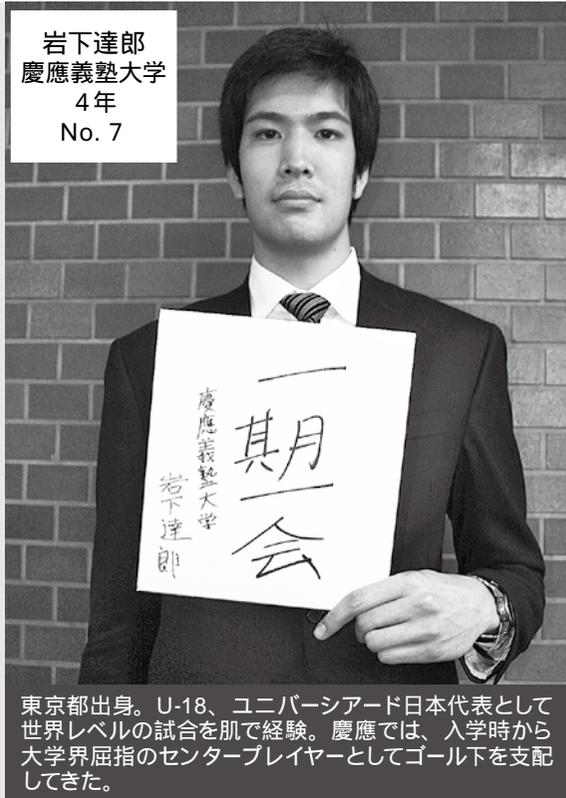
井手 : ウザイ、だるい(笑)。

相井 : あと、重たい。

早稲田一同 : おっさん(笑)。

井手 : やっぱり厄介なプレーヤーという感じ。見た目はカッコイイ...そんな嘘つけねえや(笑)。

相井 : 地味だけど、リバウンドやルーズボールと



岩下達郎
慶應義塾大学
4年
No. 7

東京都出身。U-18、ユニバーシアード日本代表として世界レベルの試合を肌で経験。慶應では、入学時から大学界屈指のセンタープレイヤーとしてゴール下を支配してきた。

か1番重要なところを担っている存在。

井手 : 酒井がいるのといないのとでは全く違う。去年はファールで下がってくれて助かった。あれが大きかった。あと二ノ宮もなんだかんだで勝負どころでシュートを入れてくるから、やっぱり二ノ宮もつぶしたい。酒井と二ノ宮のどっちかをコートから追い出せたら流れはくるんじゃないですか。

では慶應が早稲田で一番警戒すべきは誰でしょうか？

岩下・二ノ宮 : 久保田...得点源ですから。

酒井 : 去年もあいつにインサイドでやられて悪いリズムになってしまった。同じ高校なんであいつにやられるとむかつくんですけど(笑)。個人的にはガードには負けたくないです。

と慶應は考えているようですが、早稲田のキー

慶應×早稲田

「伝統の早慶戦」

早慶戦はやっぱり特別ですか？

岩下 : 盛り上がりが本当にすごいです。

酒井 : チームとしての公式戦とは違って定期戦として早慶戦勝利を目標に掲げるくらい大切にしています。思い入れは本当に強いです。

早慶戦に懸ける意気込みは？

井手 : ちょっとまだ時期が早いよな。先にトーナメントがあってもどうしてもそっちを考えてしまう。

相井 : 早慶戦は負けられない試合。時期が近づいてくればくるほど早慶戦の重みとかがってというのは感じてくると思います。そうなった時に4年生がどう思うのかが勝利に関わってくると思います。まず今はトーナメントで1つ1つ課題をクリアしていったら早慶戦につなげていきたい。

二ノ宮 : 去年初めての負けを味わってどの大会で負けるより悔しかったんで絶対に勝ちたいと思います。

岩下 : もうあんな思いはしたくないんで、絶対勝ちます。

酒井 : 春シーズンの最終目標として慶早戦に勝つと決めているのでチーム一丸となって早稲田をぶっ潰します。



マンになってくるのは？

相井 : やはり久保田かなと。

井手 : それはある。やっぱりあいつがいいとチームの調子も変わってくる。河上や二宮が今年が入ってきたけど、久保田の高さはなんだかんだいってね。1年生とはやってきた経験が違ってると思う。こちらの要求することが分からない部分もあると思う。そういう意味でやっぱり久保田には40分出てほしい。

相井 : 相手にも応じてだよな。小さいチーム相手だったら、1年生とか小さいメンバーでもいいかもしれないし。

では慶應のキーマンは？

二ノ宮 : 家治...。

金井 : じゃあ俺家治とマッチアップしよ(笑)。

酒井 : でも僕たち三人ですね。いかに周りを生かせるかだと思います。